



檜山地本通信

No. 0 2

2014年2月4日発行

発行元 自治労北海道檜山地方本部 〒043-8558 檜山郡江差町陣屋町336-3 檜山合同庁舎内
電話 0139-54-2012 F A X 0139-54-2010 E-mail h-chihon@guitar.ocn.ne.jp



要求書提出で当局の姿勢を明らかに 闘争サイクルの確立を 2014春季生活闘争

渡島檜山地本合同の春闘討論集会を、1月25日、函館市内で開催し、檜山地本からは7単組総支部から12人が参加した。

道本部から難波副執行委員長、柳田執行委員長、木村臨時執行委員、北海道労働金庫函館支店千石渉外係長、全労済道南支店佐々木副支店長が来賓として出席。

島地本執行委員長が「闘争期ごとに要求、交渉、妥結、書面協約の取り組み。特に要求書を出すことで当局の考え方が明らかになる。」などと挨拶するとともに、積極的な発言や組織内候補が立候補する七飯町長選への支援を求めた。

難波副執行委員長から「産別自決から単組自決の春闘になっていく。産別結集、地域、道本部に結集したたかいを。また、給与制度の総合的に見直したたかいかにも結集を」と挨拶。

柳田執行委員長から

「公務員給与制度の総合的に見直し」として人事院への要請書行動など、木村臨時執行委員から「労働者自主福祉活動」として共済・労金運動への取り組みについてそれぞれ提起があった。

また、渡島檜山両地本の秋期闘争の中間総括(案)および春闘方針を提起した。

参加した各単組から再任用制度や地方財政確立、独自要求課題などに取組の課題や春闘方針への補強意見など、多くの発言がされた。

なお、道本部春闘討論集会については1月10日・11日に開催され、檜山地本から7単組総支部から14人が参加している。詳細については道本部機関紙第2086号参照を。

北海道本部の春闘方針については、各地本での討論集会での意見を基に補強し、第118回中央委員会で方針が確立される。

未選出の地本役員決まる

1月18日開催の第3回単組総支部代表者会議で未選出の次の役が承認された。

副執行委員長

松浦 秀明(今金町職)

執行委員

鈴木 忍(今金町職)

監査委員

久保田栄徳(江差町職労)

今後の予定

2月

- 6日(木) 道本部第118回中央委員会(札幌市)
- 7日(金) 春季生活闘争檜山地域春闘討論集会(江差町)
- 7日(金) 道本部第2回組織強化委員会(札幌市)
- 7日(金) 道本部第1回男女がともに担う自治労北海道推進委員会(札幌市)
- 8日(土) 渡島・檜山地方本部青年婦人部合同春闘討論集会(函館市)
- 8日(土) 道南医療第20回定期大会(函館市)
- 12日(水) 檜山地方本部春闘期オルグ(～13日)
- 15日(土) 第4回単組総支部代表者会議第おおよび第1回組織強化拡大委員会(江差町)
- 15日(土) 道本部2014年度地方財政セミナー(札幌市)
- 21日(金) 全国町村職総決起集会(東京都)

給与の総合的な見直しにかかる 要請書行動の取り組みを!

人事院は昨年8月に「給与の総合的な見直し」を報告し、地域と高齢層の公務員給与水準などの引き下げについて検討することを表明しています。給与制度の見直しは、重大な労働条件の変更であることから、十分な交渉協議と幅広い議論の保障を求めるため一人7筆を地本目標として人事院に対して要請書行動を提起しております。取り組みの詳細は各単組総支部にご確認を。